

日本災害情報学会第 31 回学会大会 大会プログラム



令和 7 (2025) 年 11 月 7 日 (金) ~9 日 (日)

会場： 関西大学 高槻ミューズキャンパス

◎11 月 7 日 (金) エクスカーション (事前申込者限定)

◎11 月 8 日 (土)

10:00	受付開始	[北門]
10:30-12:10	口頭発表 (セッション 1)	[A・B・C 会場]
13:05-14:35	ポスターセッション	[西館 2 階 マルチミーティングルーム]
14:40-16:05	口頭発表 (セッション 2)	[A・B・C 会場]
16:15-17:55	口頭発表 (セッション 3)	[A・B・C 会場]
18:15-	交流会 (ワークショップ)	[北館 1 階 レストラン “ミューズ”]

◎11 月 9 日 (日)

09:00	受付開始	[北門]
09:30-10:55	口頭発表 (セッション 4)	[A・B・C 会場]
11:05-12:30	口頭発表 (セッション 5)	[A・B・C 会場]
13:30-17:00	「災害を描く」災害映画大賞授賞式・記念上映会 [北館 4 階・アリーナ]	

※A 会場：西館 M304 B 会場：西館 M401 C 会場：西館 M402

【参加方法・参加費など】

	正会員 (名誉会員・賛助・購読会員含む)	学生会員	非会員 (一般)	非会員 (学生)
大会参加費	4,000 円	2,000 円	8,000 円	4,000 円

	社会人 (社会人学生含む)	学生
交流会 (ワークショップ) 参加費	6,000 円	3,000 円

- 学会大会ならびに懇親会に参加をご希望される方は、以下の URL (STORES) から参加チケットを購入してください。(どちらも参加される方は、「入場チケット」と「交流会 (ワークショップ) 参加チケット」をご購入ください)
購入サイト <https://kst123.stores.jp/>
- 購入後、登録したメールアドレスにチケット (PDF) が届きます。
- 学会大会ならびに交流会 (ワークショップ) に参加される方は、受付でチケットの提示をお願いします。
- 現地での参加費の支払いはご遠慮ください。
- 領収書は後日、学会事務局よりメールにてお送りいたします。領収書の個別希望への対応はできません。
- 予稿集の URL もチケットに記載されています。

【大会会場案内（アクセスマップ）】



■大阪国際（伊丹）空港からのアクセス

大阪モノレール「大阪空港」駅から「門真市（かどまし）」行で「南茨木」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「高槻市」駅下車、徒歩約10分。

■JRでのアクセス

JR京都線「高槻」駅（大阪・京都駅から共に約15分）下車、徒歩約7分。

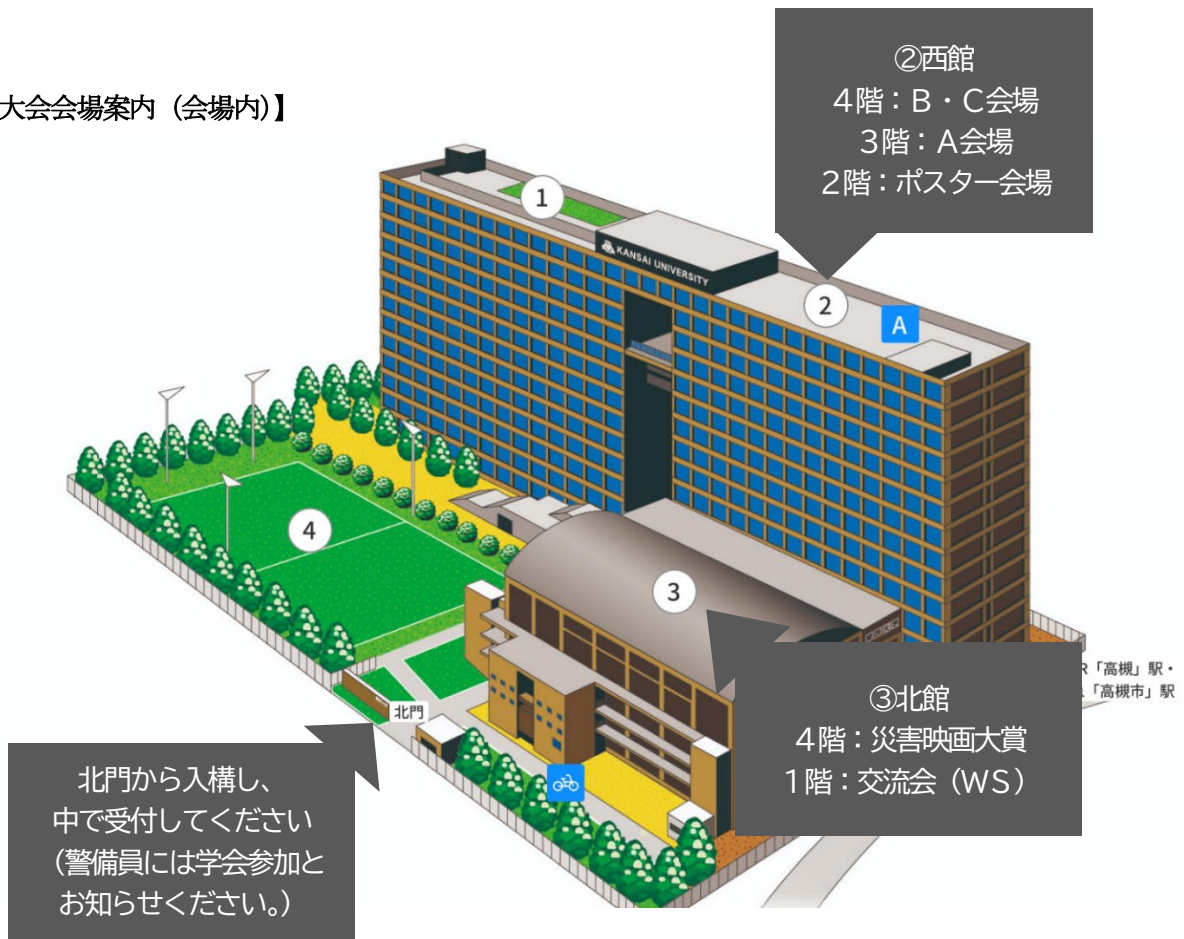
■阪急電鉄でのアクセス

阪急京都線「高槻市」駅（大阪梅田・京都河原町駅から共に約20分）下車、徒歩約10分。

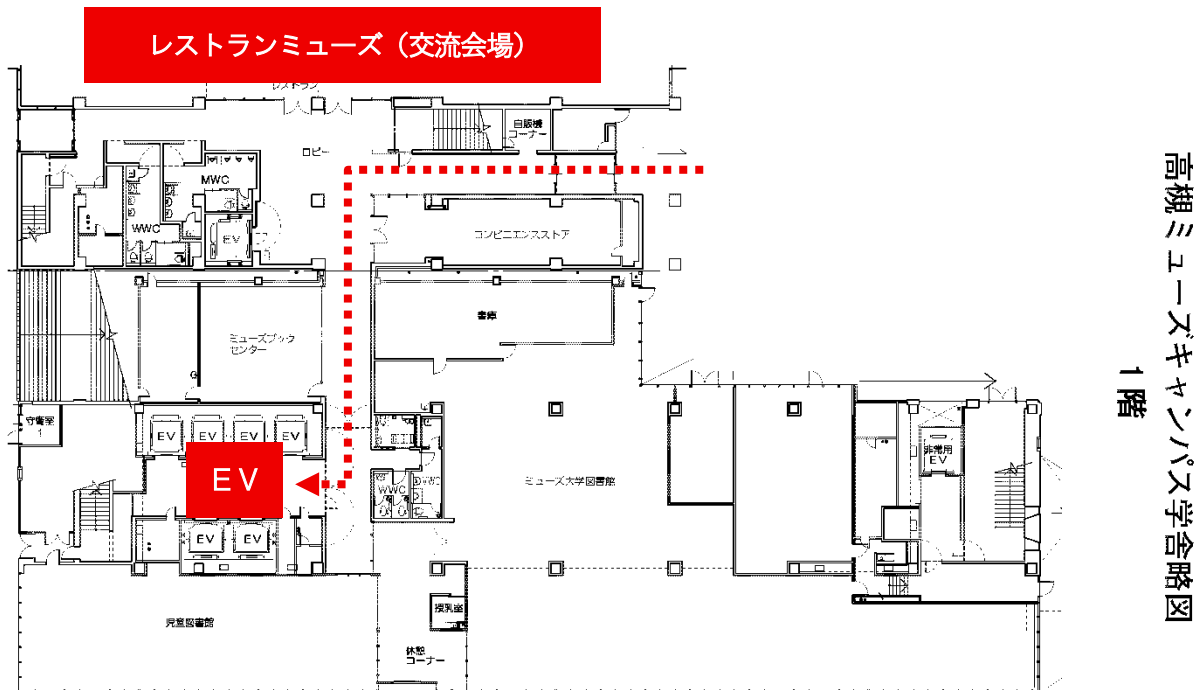
■新幹線「新大阪」駅からのアクセス

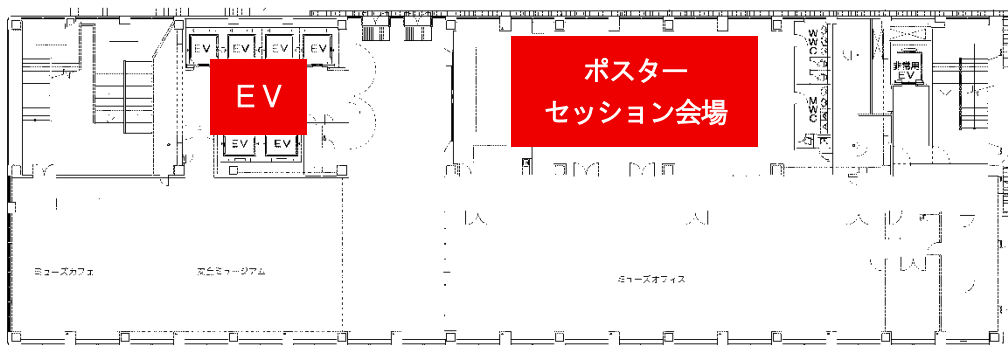
JR「新大阪」駅からJR東海道本線の京都・米原方面行で「高槻」駅下車。

【大会会場案内（会場内）】

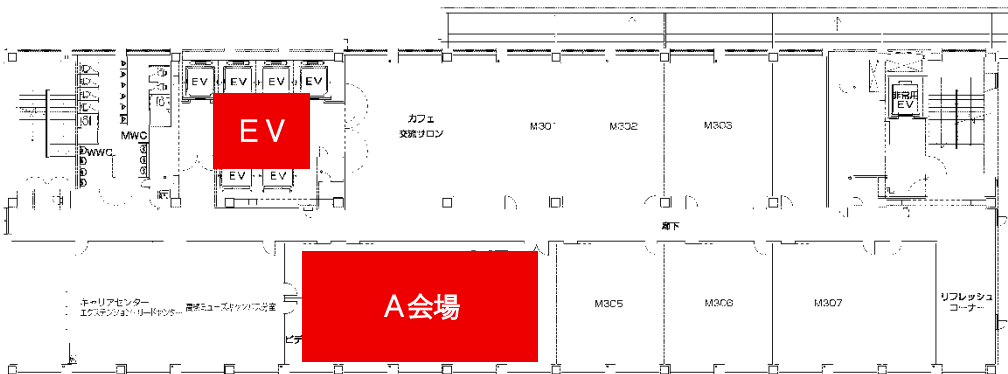


- キャンパスへの**入構は北門から**お願いします。
- 入構の際には**警備員に「日本災害情報学会に参加です」とお知らせ**ください。
- 門から入ってすぐの場所の受付にてチケット（電子または印刷したもの）を提示し、構内では必ず**名札ホルダーを着用**ください。



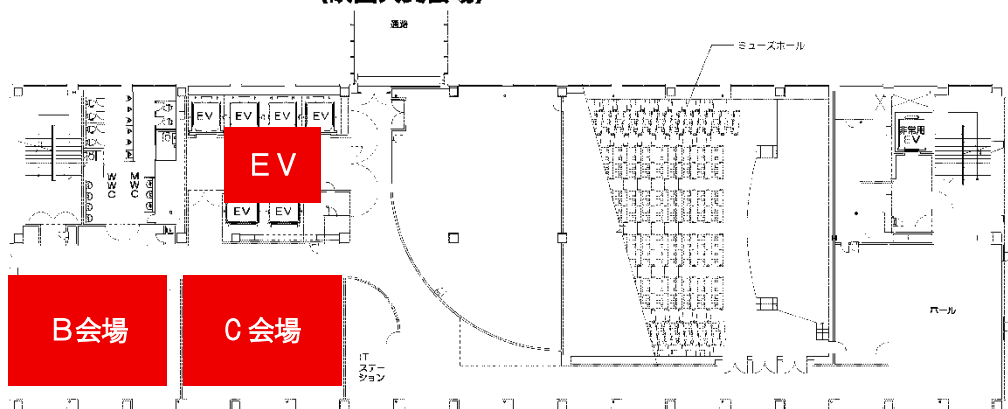


2階



3階

アリーナ (映画大賞会場)



4階

【学会に参加する全員の方に対する諸注意】

- チケットの購入は必ず事前に行ってください。
- オンラインでの中継はありません。
- 大会参加受付は、北門です。お越しの際は、受付にてチケット（電子または印刷したもの）を提示し、キャンパス内では必ず名札ホルダーを着用ください。
- 現地のネットワーク回線は eduroam ならびに関西大学のゲスト WiFi が使用可能です。
- 学会大会で使用する（指定された）会場以外の教室等には、絶対に入室しないでください。
- 発生したごみについては、各自でお持ち帰りいただくようにお願いします。
- 貴重品の管理は各自の責任においてお願いいたします。万が一、盗難等の被害が発生しても、大会実行委員会では一切の責任を負えません。

【口頭発表される方全員に対する諸注意】

- 発表で使用する PC やコネクタ（会場では HDMI 端子利用可）等は各自でご用意ください。実行委員会では機材貸出・技術的サポートの用意はありません。
- なお、**Mac をお使いの方は会場機材との接続を必ず確認**していただきますようお願いいたします。
- 発表 1 件につき、10 分発表+5 分質疑です。各セッションの最後に 10 分の総合討論の時間を設けます。なお、時間経過は以下のタイミングでお知らせしますが、念のため、お手元等でも計測をお願いします。
 - 8 分 1 鈴
 - 10 分 2 鈴（発表終了）
 - 15 分 3 鈴（質疑応答終了）
- 動画を流す場合は、なるべくパワーポイントに埋め込む形にしてください。
- 優れた口頭発表には、「優秀発表賞」を授与いたします（若手研究者・学生（40 歳以下）が対象）。表彰式は 2026 年 3 月 14・15 日に開催される第 32 回大会で行う予定です。なお、過去に阿部賞／河田賞／若手研究発表会・若手発表奨励賞（2021 年 4 月開催）／学会大会優秀発表賞を受賞した方は対象外となります。
- 発表を辞退する場合も、学会大会実行委員会・研究発表担当まで必ずご連絡ください。

【ポスター発表される方全員に対する諸注意】

- 発表者には、受付時に「発表者リボン」と貼付用品をお渡しします。発表終了後、受付にご返却下さい。ポスターの掲示位置は、西館 2 階 マルチミーティングルーム（サイズ：最大 A0 縦向き 幅 841mm×高さ 1189mm）に貼付された「発表番号」で確認してください。「発表番号」はプログラム内で指定しますので、各自ご確認ください。
- ポスター発表の時間は「前半」と「後半」で設定しています。「前半」または「後半」のいずれかに在席責任時間を指定します。発表者は、指定された在席責任時間には発表者リボンをつけて、ポスターの前で参加者からの質疑に応じて下さい。在席責任時間は学会大会実行委員会が指定します。
- 発表後、**ポスターは 8 日（土）のうちに撤去**してください。
- 必要に応じて当日、追加資料は各自で必要部数を用意してください（学会の方ではコピー等を行いません）。ただし、発表会場での机の利用はできません。電源も使用できません。
- 優れたポスター発表には、「優秀ポスター発表賞」を授与いたします（若手研究者・学生（40 歳以下）が対象）。表彰式は 2026 年 3 月 14・15 日に開催される第 32 回大会で行う予定です。なお、過去に阿部賞を受賞した方は対象外となります。
- 「優秀ポスター発表賞」の審査希望者は、10 月 31 日（金）までに大会委員会宛（jasdis.taikai@gmail.com）にポスターデータの PDF をお送りください（締切厳守）。

お困りの際は、以下まで連絡をください。

学会大会実行委員会・研究発表担当 jasdis.taikai@gmail.com

学会創設 25 周年企画

「災害を描く」 災害映画大賞授賞式・記念上映会

日時：11 月 9 日（日）13 時 30 分～17 時 00 分（13 時開場予定）

会場：北館 4F アリーナ（関西大学高槻ミュージックキャンパス）

参加：会員のみ（事前申込不要）

概要：

◎ 「災害映画大賞」企画趣旨説明

及川 康（企画委員会副委員長／東洋大学理工学部 教授）

◎ 表彰ならびに記念品授与

岩田 孝仁（会長／静岡大学防災総合センター 客員教授）

◎ 『心の傷を癒やすということ 劇場版』上映会

製作年 2020 年

上映時間 116 分

製作会社 映画「心の傷を癒やすということ」製作委員会

配 給 ギャガ

監 督 安達 もじり

原 案 安 克昌

脚 本 桑原 亮子

出 演 柄本 佑、尾野 真千子、濱田 岳、森山 直太朗 ほか

◎ トークセッション「映画が災害を描くとは」

語り手

安 成洋（ミナトスタジオ共同取締役／プロデューサー）

安達 もじり（演出家・映画監督）

聞き手

大牟田 智佐子（理事／（株）毎日放送）

永松 伸吾（大会実行委員長／関西大学社会安全学部 教授）

◎ 閉会挨拶

秦 康範（企画委員長／日本大学危機管理学部 教授）

司会：木戸 崇之（企画委員会幹事／（株）エー・ビー・シーリブラ）

●発表スケジュール（簡易版）

日本災害情報学会第31回学会大会プログラム

1日目（11月7日 ※事前申込制）

エクスカーショ	（詳細は後日、お知らせします）
---------	-----------------

2日目（11月8日 10:00受付開始 受付：北門すぐ）

	会場 西館M304 口頭発表 A会場	会場 西館M401 口頭発表 B会場	会場 西館M402 口頭発表 C会場
セッション1 10:30-12:10	地震・火山Ⅰ 座長：照本 清峰	コミュニケーションⅠ 座長：安本 真也	認知・行動 座長：石橋 真帆
昼休み 12:10-13:05			
ポスターセッション 13:05-14:35	西館2階 マルチミーティングルーム		
セッション2 14:40-16:05	地震・火山Ⅱ 座長：佐藤 史弥	コミュニケーションⅡ 座長：黒田 洋司	防災教育 座長：定池 祐季
セッション3 16:15-17:55	防災気象Ⅰ 座長：牛山 素行	災害復興・伝承 座長：佐藤 翔輔	都市災害・地域防災 座長：竹之内 健介
交流会 （ワークショップ） 18:15-	北館 1階 レストラン “ミューズ”		

3日目（11月9日 9:00受付開始 受付：北門すぐ）

	会場 西館M304 口頭発表 A会場	会場 西館M401 口頭発表 B会場	会場 西館M402 口頭発表 C会場
セッション4 09:30-10:55	避難 座長：及川 康	要配慮者・国際 座長：地引 泰人	情報技術Ⅰ 座長：加村 邦茂
セッション5 11:05-12:30	防災気象Ⅱ 座長：本間 基寛	災害対応 座長：有吉 恭子	情報技術Ⅱ 座長：大原 美保
昼休み 12:30-13:30			
シンポジウム 災害映画大賞	北館4階 アリーナ		

●口頭発表スケジュール（詳細版）

11月8日（土）10:30～12:10 セッション1

西館M304（A会場）

A1 地震・火山I（座長 照本 清峰）

- A1-1 能登半島地震における「情報災害」の構造と被災者影響—自由記述アンケート及び聞き取り調査に基づく考察—
林 智裕（東京大学大学院 学際情報学府／東日本大震災・原子力災害伝承館）
相本 啓太（ジャーナリスト／ハフポスト日本）
開沼 博（東京大学大学院 情報学環／東日本大震災・原子力災害伝承館）
- A1-2 令和6年度能登半島地震における災害関連死の状況分析を元にしたIP情報機器を用いた見守り手法の研究
増田 和順（国立研究開発法人 防災科学技術研究所、株式会社クレバーラクーン）
- A1-3 令和6年輪島市大規模火災における建物被害推定 — 高解像度 UAV・DSM 空撮測量による試行的適用—
ピニエヒロ アベウ タイチ コンノ（東京大学 空間情報科学研究センター）
- A1-4 火山防災教育のためのクロスロードの効果に関する評価指標の検討—富士山版クロスロードの開発—
岡田 夏美（山梨県富士山科学研究所 富士山火山防災研究センター）
矢守 克也（京都大学 防災研究所）
吉本 充宏（山梨県富士山科学研究所 富士山火山防災研究センター）
久保 智弘（山梨県富士山科学研究所 富士山火山防災研究センター）
- A1-5 2次避難先としての民泊の活用に関する研究—2024年能登半島地震の事例より—
阪本真由美（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科）
- A1-6 災害発生後の避難生活環境に関する地域住民による 対応マネジメントのマニュアル（案）の作成
照本 清峰（関西学院大学建築学部）

11月8日（土）10:30～12:10 セッション1

西館M401（B会場）

B1 コミュニケーションI（座長 安本 真也）

- B1-1 曖昧状況下での対応行動特性に関する再検証
渡邊 峻介（東洋大学大学院 理工学研究科 都市環境デザイン専攻）
森本 翔太（東洋大学大学院 理工学研究科 都市環境デザイン専攻）
及川 康（東洋大学 理工学部 都市環境デザイン学科）
- B1-2 防災啓発活動における「啓発主体」が「啓発対象」の役割演技を行うことの意義：気象庁職員を対象に実施
竹 順哉（京都大学大学院情報学研究科）
矢守 克也（京都大学防災研究所 巨大災害研究センター）
- B1-3 ゲーミングを活用したワークショップによるゲリラ豪雨の特性理解と対策意識の向上効果の分析
黒田 奈那（（公財）ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター）
南 貴久（（公財）ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター）

竹之内健介（香川大学 創造工学部）

米田 幸生（環境省 近畿地方環境事務所）

藤田 浩史（（一財）日本気象協会）

中北 英一（（公財）ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 人と防災未来センター、（一財）日本気象協会、京都大学）

B1-4 災害の周年報道と集合的記憶 その3 一阪神・淡路大震災 30 年のテレビ番組を題材に—
川西 勝（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科）

B1-5 市民会議は首都直下地震のリスク認識をどう変えるか：参加者アンケートの時系列分析

田中 勝也（滋賀大学 経済学部／環境総合研究センター）

松岡 俊二（早稲田大学 大学院アジア太平洋研究科）

松本 礼史（日本大学 生物資源科学部）

竹内 真司（日本大学 文理学部）

B1-6 東日本大震災後の「災害映画」

安本 真也（東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター）

11月8日（土）10：30～12：10 セッション1

西館M402（C会場）

C1 認知・行動（座長 石橋 真帆）

C1-1 火山の状況に関する解説情報（臨時）発表中における焼岳登山者への意識調査（速報）

中村 美月（山梨大学大学院医工農学総合教育部修士課程工学専攻）

佐藤 史弥（山梨大学地域防災・マネジメント研究センター）

秦 康範（日本大学危機管理学部）

C1-2 防災気象情報が想定する対応行動と住民の対応行動との不一致に関する研究

内藤 千晴（香川大学 創造工学部）

竹之内健介（香川大学 創造工学部）

C1-3 リスク認知は防災行動を生起するの—心的シミュレーションの調整効果に着目して—

樋口満里奈（（元）お茶の水女子大学 人間文化創成科学研究科人間発達科学専攻）

坂元 章（お茶の水女子大学 人間文化創成科学研究科人間発達科学専攻）

C1-4 第三原則を必要としない社会の存在可能性について

森本 翔太（東洋大学大学院理工学研究科都市環境デザイン専攻）

及川 康（東洋大学理工学部都市環境デザイン学科）

C1-5 災害制御可能感の払拭の必要性に関する一考察～日米新の三か国比較から～

小島 彰吾（東洋大学大学院理工学研究科建築・都市デザイン専攻（株式会社アイ・ディー・エー））

及川 康（東洋大学理工学部 都市環境デザイン学科）

片田 敏孝（東京大学大学院情報学環）

C1-6 災害情報接触時における瞬間的情報処理—脳波測定による防災士と非防災士の比較研究—

綿貫 真也（流通科学大学 商学部）

野村悠美子（日本赤十字広島看護大学）
清田 友貴（医療法人広島ハートセンター 広島心臓血管病院）
久保 南（広島赤十字・原爆病院）
青木 雄司（株式会社熊平製作所）
藤本 健二（株式会社サーベイリサーチセンター）
岡田 淳子（県立広島大学 保健福祉学部）
江戸 克栄（県立広島大学大学院 経営管理研究科）

11月8日（土）14：40～16：05 セッション2

西館M304（A会場）

A2 地震・火山Ⅱ（座長 佐藤 史弥）

A2-1 富士山噴火に備えた防災教育のための溶岩流実験教材

吉本 充宏（山梨県富士山科学研究所）
久保 智弘（山梨県富士山科学研究所）
亀谷 伸子（山梨県富士山科学研究所）
本多 亮（山梨県富士山科学研究所）
藤巻 桂吾（忍野小学校）
横山 光（北翔大学）
三ツ井聡美（筑波大学）

A2-2 津波警報時の初動呼びかけを再検討するー2024 年台湾付近の地震と 2025 年カムチャツカ半島東方沖地震ー

福本 晋悟（株式会社毎日放送 報道情報局報道センター（人と防災未来センター））

A2-3 「2025 年 7 月地震流言」についての意識と対応ーアンケート調査からの考察ー

中森 広道（日本大学文理学部社会学科）

A2-4 昭和 19 年東南海地震と軍需工場：戦後生まれた誤認

武村 雅之（東海国立大学機構名古屋大学減災連携研究センター）

A2-5 火山ハザードマップのわかりやすさに関する媒体間比較ー箱根町住民を対象とした分析ー

佐藤 史弥（山梨大学地域防災・マネジメント研究センター）
佐々木 寿（アジア航測株式会社）
江川 香（アジア航測株式会社）
秦 康範（日本大学危機管理学部）

11月8日（土）14：40～16：05 セッション2

西館M401（B会場）

B2 コミュニケーションⅡ（座長 黒田 洋司）

B2-1 地震に関する用語とリスクコミュニケーションー「南海トラフ地震臨時情報（注意）」と「地震動予測地図」からみる名称に関する一考察ー

関谷 直也（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）

B2-2 多文化社会における災害時コミュニケーションー異文化間対応力としての「仲介」に着目してー

松岡 洋子（岩手大学 国際教育センター）

- B2-3 地域の防災活動における情報共有の新たな発想「防災のシェア」の提案とその効果～3地区リモートワークショップについての考察から～
大山 武人（大阪公立大学 都市科学・防災研究センター）
生田 英輔（大阪公立大学 都市科学・防災研究センター）
- B2-4 学会ニュースレター第1号～第100号にみるハザード・災害・情報のトレンド
福島 隆史（TBSテレビ報道局）
- B2-5 災害時臨時広報紙の推移と可能性
黒田 洋司（（一財）消防防災科学センター）

11月8日（土）14：40～16：05 セッション2

西館M402（C会場）

C2 防災教育（座長 定池 祐季）

- C2-1 なぜ若者は福島を訪れ、何を学ぶのか——AIDAS モデルを用いた復興学習行動プロセス分析
藺田 希夢（東京大学教養学部前期課程理科二類）
戸田日々輝（東京大学教養学部前期課程理科一類）
根本 豪己（東京大学工学部都市工学科）
開沼 博（東京大学大学院情報学環／東日本大震災・原子力災害伝承館）
- C2-2 原子力災害被災地における教育実践の機能：双葉郡「ふるさと創造学」を担う人びとの語りから
浦田 日和（東京大学公共政策教育部国際公共政策コース）
磯崎麻李花（東京大学教養学部教養学科地域文化研究アジア・日本研究）
寺田 幸歩（東京大学教養学部文科Ⅰ類）
森本 聡太（東京大学教養学部理科Ⅱ類）
神村 聡介（東京大学教養学部文科Ⅱ類）
藤澤 実波（東京大学公共政策教育部経済政策コース）
多田 健太（東京大学大学院学際情報学府）
吉田 豊（筑波大学大学院人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学研究群）
奥山 泰冴（島大学共生システム理工学研究科）
根本 豪己（東京大学工学部都市工学科）
開沼 博（東京大学大学院情報学環／東日本大震災・原子力災害伝承館）
- C2-3 防災教育研究のレビューに向けた Gemini 2.5 Pro および Gemma 3n 活用の試み
野元 颯馬（関西大学 社会安全研究科）
- C2-4 小中学校等の防災気象情報等に応じた休校等の対応調査（初報）
津島 俊介（関西航空地方気象台（静岡大学防災総合センター））
山本 恭子（大阪管区気象台）
牛山 素行（静岡大学防災総合センター）
- C2-5 北海道厚真町における学校防災教育の変容
定池 祐季（東北学院大学地域総合学部政策デザイン学科）

11月8日(土) 16:15～17:55 セッション3

西館M304 (A会場)

A3 防災気象I (座長 牛山 素行)

A3-1 豪雨災害時におけるマルチセンシングデータを用いた孤立集落推定手法の開発～令和7年8月6日からの低気圧と前線による大雨を事例として～

藤田 翔乃 (国立研究開発法人防災科学技術研究所 先進防災技術連携研究センター)

君嶋 里美 (国立研究開発法人防災科学技術研究所 先進防災技術連携研究センター)

平 春 (国立研究開発法人防災科学技術研究所 先進防災技術連携研究センター)

佐野 浩彬 (国立研究開発法人防災科学技術研究所 先進防災技術連携研究センター)

花島 誠人 (国立研究開発法人防災科学技術研究所 先進防災技術連携研究センター)

取出 新吾 (国立研究開発法人防災科学技術研究所 先進防災技術連携研究センター)

田口 仁 (国立研究開発法人防災科学技術研究所 先進防災技術連携研究センター)

A3-2 防災気象情報を情報理論から解釈する

本多 祥大 (日本大学大学院新聞学研究科／東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)

関谷 直也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)

A3-3 教職員を対象とした学校防災研修の事例報告 ～防災知識の向上と安全配慮義務の理解～

島村 英男 (兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 (兵庫県立西神戸高等特別支援学校))

A3-4 「ゲリラ豪雨」という言葉はどう受け止められているか インターネットアンケート調査の分析

入江さやか (松本大学 総合経営学部 観光ホスピタリティ学科)

竹之内健介 (香川大学 創造工学部)

南 貴久 ((公財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 人と防災未来センター)

A3-5 令和8年からの新しい防災気象情報の伝え方の検討ー2000年東海豪雨事例を用いてー

向井 利明 (名古屋地方気象台 (静岡大学防災総合センター))

桜沢 信司 (株式会社 CBC テレビ)

尾関 淳哉 (株式会社 CBC テレビ)

牛山 素行 (静岡大学防災総合センター)

A3-6 2025年台風第15号による静岡県内の被災場所と防災気象情報

牛山 素行 (静岡大学防災総合センター)

杉村 晃一 (静岡市役所)

向井 利明 (気象庁)

11月8日(土) 16:15～17:55 セッション3

西館M401 (B会場)

B3 災害復興・伝承 (座長 佐藤 翔輔)

B3-1 原子力災害復興と産業団地の業種構成ー中野復興産業拠点と富岡産業団地の比較分析ー

中山 恭吾 (東京大学 教養学部教養学科総合社会科学分科国際関係論コース)

吉田 豊 (筑波大学大学院人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学研究群)

根本 豪己 (東京大学工学部都市工学科)

奥山 泰冨 (福島大学共生システム理工学研究科環境放射能学専攻)

藤澤 実波 (東京大学大学院 公共政策学教育部公共政策学専攻)

山際 美愛 (東京大学 教養学部文科三類)
對馬 光汰 (東京大学 教養学部理科一類)
開沼 博 (東京大学大学院情報学環／東日本大震災・原子力災害伝承館)

B3-2 復興過程での「次世代の育成」はどのように変化したか—「ふるさと創造学」の実践から見えた変化と課題—

森本 聡太 (東京大学教養学部理科二類)
神村 聡介 (東京大学教養学部文科二類)
浦田 日和 (東京大学公共政策教育部国際公共政策コース)
磯崎麻李花 (東京大学教養学部教養学科地域文化研究アジア・日本研究)
寺田 幸歩 (東京大学教養学部文科一類)
藤澤 実波 (東京大学公共政策教育部経済政策コース)
多田 健太 (東京大学大学院学際情報学府)
吉田 豊 (筑波大学大学院人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学研究群)
奥山 泰冴 (島大学共生システム理工学研究科)
根本 豪己 (東京大学工学部都市工学科)
開沼 博 (東京大学大学院情報学環／東日本大震災・原子力災害伝承館)

B3-3 モバイル空間統計と社会調査を用いた中小規模洪水災害での復興過程の解析—2023 年 7 月秋田豪雨の事例—

浅野 仁作 (東北大学大学院 工学研究科)
佐藤 翔輔 (東北大学災害科学国際研究所)
今村 文彦 (東北大学災害科学国際研究所)

B3-4 自然災害伝承碑における『マイナス年差』事例の分析—建立と災害の逆転が拓く新しい視座—

椎原 琉音 (九州大学 共創学部)
齋藤 かな (九州大学 教育学部)
杉山 高志 (九州大学大学院 人間環境学研究院)

B3-5 時が経過した災害手記・提供映像の著作権処理の課題 ～阪神・淡路大震災 30 年特別番組制作の経験から～

木戸 崇之 ((株)エー・ビー・シーリブラ (朝日放送テレビより出向))

B3-6 被災体験を伝える方法として VR は語りを超えることができるか (第 1 報)

佐藤 翔輔 (東北大学災害科学国際研究所)
新家 杏奈 (東北大学災害科学国際研究所)
千葉 智史 (株式会社日本総合システム 仙台支社)
成田峻之輔 (東北大学大学院工学研究科)
三上 雄大 (東北大学大学院工学研究科)
梶 明日香 (東北大学大学院工学研究科)
岡元 徹 (株式会社日本総合システム 仙台支社)
今村 文彦 (東北大学災害科学国際研究所)

11月8日(土) 16:15~17:55 セッション3

西館M402 (C会場)

C3 都市災害・地域防災(座長 竹之内 健介)

C3-1 災害時要配慮者の避難状況把握を通じた帰宅困難者問題の問い直し

迎 拓真 (九州大学大学院 統合新領域学府ユーザー感性スタディーズ専攻)
杉山 高志 (九州大学大学院 人間環境学研究院)
大本 航 (九州大学大学院 統合新領域学府ユーザー感性スタディーズ専攻)

C3-2 帰宅困難者における一時滞在施設に対する支払い意思額に影響する要素

寅屋敷哲也 (早稲田大学 データ科学センター)
丸谷 浩 (東北大学 災害科学国際研究所)

C3-3 災害連鎖ネットワークの構築手法の検討: 統合解析と意味分解による因果関係のネットワーク化

井澤 佳織 (東京大学 先端科学技術研究センター)
塩崎 洸 (株式会社構造計画研究所)
坂平 文博 (大阪工業大学 情報科学部)
廣井 悠 (東京大学 先端科学技術研究センター)

C3-4 多次元の“防災機能付与”による災害に負けないまちづくり

堀合 孝博 (パシフィックコンサルタンツ株式会社)
岩田 峻 (株式会社東京建設コンサルタント)
鈴木 康夫 (アジア航測株式会社)
山下 大輔 (日本工営株式会社)
丸橋 温美 (日本工営株式会社)
竹内 友彦 (一般社団法人流域水管理研究所)
山下 大志 (一般社団法人流域水管理研究所)
越智 繁雄 (大成建設株式会社)

C3-5 行政による中間支援機能 ―災害中間支援 NPO への期待とともに―

高田 昭彦 (復興ボランティアタスクフォース 代表/富士フイルムビジネスイノベーションジャパン 勤務)

C3-6 「かすがい防災」の視点からの地域防災の展望～目的としての防災か、かすがいとしての防災か～

竹之内 健介 (香川大学創造工学部)

11月9日(日) 09:30~10:55 セッション4

西館M304 (A会場)

A4 避難(座長 及川 康)

A4-1 ICS 視点からみた災害時保健活動チームの組織構造―令和6年能登半島地震の事例―

有吉 恭子 (吹田市総務部危機管理室、関西大学)
柴田 敏之 (大阪府庁)
柴野 将行 (吹田市総務部危機管理室、日本大学)
塩津 達哉 (吹田市総務部危機管理室)
越山 健治 (関西大学)

A4-2 津波避難戦略検討ツールの発災前後の教育効果の分析—2024 年 8 月 8 日に発生した日向灘の地震を例に—

杉山 高志 (九州大学大学院 人間環境学研究院)
矢守 克也 (京都大学 防災研究所)
ト部 兼慎 ((株) GK 京都)
西野 隆博 ((有) R2 メディア・ソリューション)

A4-3 原子力災害時の屋内退避を促進する情報に関する研究

福井 桃子 (東京大学大学院 学際情報学府 学際情報学専攻)
多田 健太 (東京大学大学院 学際情報学府 学際情報学専攻)
LEE SEUNGMIN (東京大学大学院 学際情報学府 学際情報学専攻)
鍵 慶和 (東京大学大学院 学際情報学府 学際情報学専攻)
米山 太賀 (東京大学大学院 学際情報学府 学際情報学専攻)
安本 真也 (東京大学大学院 情報学環総合防災情報研究センター)
石橋 真帆 (東京大学大学院 情報学環総合防災情報研究センター)
関谷 直也 (東京大学大学院 情報学環総合防災情報研究センター)
高原 省五 (日本原子力研究開発機構)

A4-4 防災気象情報における空振り感の生成要因

赤石 一英 (気象庁 情報基盤部情報通信基盤課システム運用室)
田中 勝也 (滋賀大学 経済学部／環境総合研究センター)
横田 崇 (愛知工業大学 地域防災研究センター)
牛山 素行 (静岡大学 防災総合センター)

A4-5 裏命題の悪影響が問題となる条件について

及川 康 (東洋大学理工学部都市環境デザイン学科)
森本 翔太 (東洋大学大学院理工学研究科都市環境デザイン専攻)

11月9日(日) 09:30~10:55 セッション4

西館M401 (B会場)

B4 要配慮者・国際 (座長 地引 泰人)

B4-1 2024年ドイツ豪雨災害における鉄道被害と流域治水に関する考察

河田 慈人 (関西国際大学高等教育研究開発センター)

B4-2 フィリピン共和国パンパンガ川流域の洪水常襲地域における住民の認識と移住意欲

龐 朝霞 (東京大学大学院情報学環)
大原 美保 (東京大学大学院情報学環)
田中 智大 (京都大学防災研究所)
Patricia Anne J. Sanchez (フィリピン大学ロスバニョス校 環境科学管理研究科)

B4-3 2025年4月の長野県北部の地震に関する訪日外国人緊急アンケート調査

松澤 尚弥 (松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科)
入江さやか (松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科)

- B4-4 福祉避難所への直接避難可否に関する自治体調査と運用上の課題
棚橋莉沙子（九州大学大学院 統合新領域学府ユーザー感性スタディーズ専攻）
杉山 高志（九州大学大学院 人間環境学研究院）
山崎さくら（九州大学 教育学部）
- B4-5 東京電力福島第一原子力発電所事故後の「食の安全」に関する国際機関の動向の予備的検討：英文学術論文の文献調査
地引 泰人（東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター）
関谷 直也（東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター）

11月9日（日）09：30～10：55 セッション4

西館M402（C会場）

C4 情報技術 I（座長 加村 邦茂）

- C4-1 深層学習と OpenStreetMap を援用した避難情報提供システムの構築
山田 航大（香川大学 大学院創発科学研究科）
久保 栞（香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構）
吉田 秀典（香川大学 創造工学部）
- C4-2 南海トラフ巨大地震等の災害対応を目的とした「あいち土木被害情報共有システム」の研修の概要と課題、今後の展望
横山 暢広（国際航業株式会社）
島田 徹（国際航業株式会社）
土屋 奏（国際航業株式会社）
林 大貴（国際航業株式会社）
大見 明弘（愛知県建設局土木部建設企画課）
神谷 友子（愛知県建設局土木部建設企画課）
- C4-3 災害ボランティアセンターにおける DX：現状の課題と AI エージェントの開発にむけた基礎研究
阿部 舞優（ソフトバンク株式会社）
有吉 恭子（吹田市危機管理室／関西大学 社会安全研究科／人と防災未来センター）
佐々木俊介（早稲田大学 平山郁夫記念ボランティアセンター）
- C4-4 防災教育における生成 AI を活用した避難誘導者教材の検討
石崎 仁湖（大阪工業大学 情報科学部）
大井 翔（大阪工業大学 情報科学部）
今井 弘二（大阪工業大学 情報科学部／国立研究開発法人情報通信研究機構 AI 研究開発推進ユニット）
- C4-5 4K ライブカメラ映像への物体検出アルゴリズム適用による津波発生時における海水浴客数自動推計手法の検証
成田峻之輔（東北大学大学院工学研究科）
和泉慶乃佑（東北大学大学院情報科学研究科）
佐藤 翔輔（東北大学災害科学国際研究所）
今村 文彦（東北大学災害科学国際研究所）

11月9日(日) 11:05~12:30 セッション5

西館M304 (A会場)

A5 防災気象Ⅱ (座長 本間 基寛)

- A5-1 気象のローカル知と自律共生的な環境制御技術の関係性の検討—トマト栽培農家の参与観察を通じて—
岩堀 卓弥 (愛媛大学 社会共創学部)
羽鳥 剛史 (愛媛大学 社会共創学部)
- A5-2 地域は「洪水予報」とどう向き合ってきたか—淀川における洪水予報の草創期に着目して—
富澤 周 (東京大学大学院工学系研究科先端学際工学専攻)
- A5-3 水害に備える企業対応の現状傾向の分析
清船 竜馬 (香川大学 創造工学部)
竹之内健介 (香川大学 創造工学部)
- A5-4 領域アンサンブル予測システムを用いた土砂災害危険度予測モデルの開発
長村 航聖 (東北大学大学院理学研究科地球物理学専攻)
山崎 剛 (東北大学大学院理学研究科地球物理学専攻)
福井 真 (気象庁気象研究所)

11月9日(日) 11:05~12:30 セッション5

西館M401 (B会場)

B5 災害対応 (座長 有吉 恭子)

- B5-1 群衆シミュレーションによる災害リスクの可視化と BCP 策定における課題抽出
久保 栞 (香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構)
磯打千雅子 (香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構)
金井 純子 (徳島大学 大学院 社会産業理工学研究部)
- B5-2 AAR 記録の経年比較による災害対策本部運営評価に関する考察
湯浅 和真 (株式会社建設技術研究所 (前 香川大学創造工学部創造工学科防災・危機管理コース))
田中健太郎 (倉敷市役所 (前 香川大学大学院創発科学研究科))
高橋紗央里 (香川大学 IECMS 地域強靱化研究センター)
磯打千雅子 (香川大学 IECMS 地域強靱化研究センター)
- B5-3 災害対策本部会議における意思決定の迅速化に向けた取り組み—大阪府 S 市の事例—
塩津 達哉 (吹田市総務部危機管理室)
有吉 恭子 (吹田市総務部危機管理室／関西大学)
柴野 将行 (吹田市総務部危機管理室／日本大学)
越山 健治 (関西大学)
- B5-4 ヤフー防災模試「阪神・淡路大震災 30 年特別編」の都道府県比較—兵庫県を中心とした分析—
安田 健志 (LINE ヤフー株式会社 サステナビリティ推進統括本部 災害支援推進部)
竹口麻衣子 (LINE ヤフー株式会社 サステナビリティ推進統括本部 災害支援推進部)
佐藤 翔輔 (東北大学災害科学国際研究所)

- B5-5 「防災と倫理」について考えるための5つの視点
矢守 克也（京都大学防災研究所）

11月9日（日）11:05～12:30 セッション5

西館M402（C会場）

C5 情報技術Ⅱ（座長 大原 美保）

- C5-1 人流データを活用した水害時の避難オペレーションの高度化に向けた基礎的検討

午房 佳貴（NTT 東日本株式会社 防災研究所）
中村 帥（NTT 東日本株式会社 防災研究所）
稲垣 晶彦（NTT 東日本株式会社 防災研究所）
井澤 佳織（東京大学 先端科学技術研究センター）
四井 早紀（東京大学 先端科学技術研究センター）
大津山堅介（東京大学 先端科学技術研究センター）
廣井 悠（東京大学 先端科学技術研究センター）

- C5-2 公的な災害地理空間情報の取得への SNS 画像の適用
佐藤 潤（一般社団法人 国際建設技術協会）

- C5-3 災害時における位置情報活用システムの実装について（住民間での位置情報共有・観光客の被災者誘導構想）
天野 徹（明星大学 人文学部 人間社会学科）
岩瀬 義和（株式会社 デジコンキューブ）

- C5-4 被害状況を容易に把握・共有可能な「被災現場支援ツール」の効果検証
筒井 和男（国立研究開発法人防災科学技術研究所 先進防災技術連携研究センター）
佐野 浩彬（国立研究開発法人防災科学技術研究所 先進防災技術連携研究センター）
伊勢 正（国立研究開発法人防災科学技術研究所 先進防災技術連携研究センター）
野澤宇一郎（株式会社マイスター）
福久 康平（株式会社マイスター）
中村 祐介（株式会社雪研スノーイーターズ）

- C5-5 災害対応検証報告書からの災害対応ヒヤリ・ハット事例の半自動抽出技術の開発と展開
大原 美保（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）
栗林 大輔（国立研究開発法人 土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター）
平間 友大（AI 平間ラボ）
横山想一郎（北海道大学大学院情報科学研究院）
山下 倫央（北海道大学大学院情報科学研究院）

●ポスター発表スケジュール（詳細版）

11月8日（土）13:05～14:35（コアタイム）

発表番号奇数者：在籍責任時間 13:05～13:50

発表番号偶数者：在籍責任時間 13:50～14:35

西館2階 マルチミーティングルーム

- P1 次世代防災アプリに求められる機能の選好分析：ベスト・ワースト・スケーリングを用いた定量的アプローチ

鬼頭 直 (河川情報センター 流域情報事業部)
田中 勝也 (滋賀大学 経済学部/環境総合研究センター)
田中 耕司 (河川情報センター 企画調整部/兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科)

P2 避難場所割当問題における人口データの違いが評価結果に与える影響

芦田 大和 (大阪工業大学 情報科学部)
坂平 文博 (大阪工業大学 情報科学部)

P3 災害報道の二相減衰と議題の再設定—阪神・淡路と東日本の新聞紙面毎の時系列分析—

藤江 海人 (大阪工業大学大学院 情報科学研究科)
廣井 悠 (東京大学 先端科学技術研究センター)
坂平 文博 (大阪工業大学 情報科学部)

P4 「Cash for Work (CfW) プログラム」の発展

呉 開源 (関西大学社会安全研究科減災政策研究室)
永松 伸吾 (関西大学社会安全学部)

P5 避難シミュレーション結果の住民理解を促す物語化手法 —LLM とマルチモーダル RAG の活用—

平畑 優斗 (大阪工業大学大学院 情報科学研究科)
坂平 文博 (大阪工業大学 情報科学部)

P6 複合災害への対応シナリオと建設コンサルタントの新たな役割

徳永 博 (日本工営株式会社)
町田 岳 (株式会社東京建設コンサルタント)
飛岡 啓之 (パシフィックコンサルタンツ株式会社)
神吉千太郎 (アジア航測株式会社)
山下 大志 (一般社団法人流域水管理研究所)
森田 格 (日本工営株式会社)
小島 崇 (株式会社東京建設コンサルタント)
石原 正義 (パシフィックコンサルタンツ株式会社)
西村 直記 (アジア航測株式会社)
竹内 友彦 (一般社団法人流域水管理研究所)

P7 地域の住民・企業を対象とした災害リスクアセスメント手法の提案

中嶋 幸宏 (アジア航測株式会社)
小河健一郎 (パシフィックコンサルタンツ株式会社)
原田 大輔 (パシフィックコンサルタンツ株式会社)
尾ノ井龍仁 (パシフィックコンサルタンツ株式会社)
小澁 晴信 (株式会社東京建設コンサルタント)
萩原 崇 (日本工営株式会社)
竹内 友彦 (一般社団法人流域水管理研究所)
山下 大志 (一般社団法人流域水管理研究所)
中島 秀敏 (公益財団法人日本測量調査技術協会)

- P8 コミュニティタイムライン作成を通じた水害時の自主防災組織体制の再構築
広田 達郎 (環境防災総合政策研究機構 (CeMI))
山本 由佳 (環境防災総合政策研究機構 (CeMI))
起田 淳 (環境防災総合政策研究機構 (CeMI))
- P9 避難行動を阻害する認知バイアス修正の可能性を行動実験から探る-模擬避難所訓練を通して-
橋本 翠 (吉備国際大学 人間科学部 人間科学科 心理学専攻)
村上 勝典 (吉備国際大学 人間科学部 人間科学科 心理学専攻)
林 和佳奈 (吉備国際大学 心理学部 心理学科)
森井 康幸 (吉備国際大学 人間科学部 人間科学科 心理学専攻)
- P10 “防災のことは”から受け取る危機感のレベルは？―「臨時情報」や「危険警報」などに関する住民調査―
福本 晋悟 (株式会社毎日放送 報道情報局報道センター (人と防災未来センター))
- P11 サイエンス・デイ 2025 における防災意識向上に向けた模型実験紹介
長村 航聖 (東北大学大学院 理学研究科)
鈴木 志門 (東北大学大学院 工学研究科)
鈴木 香穂 (東北大学大学院 文学研究科)
松下奈津子 (東北大学大学院 理学研究科)
池本 敦哉 (東北大学大学院 工学研究科)
- P12 「津波高さの直接的な可視化」が津波から避難するための建物選択に及ぼす影響に関する基礎的実験
梶 明日香 (東北大学 工学研究科土木工学専攻)
佐藤 翔輔 (東北大学 災害科学国際研究所)
新家 杏奈 (東北大学 災害科学国際研究所)
今村 文彦 (東北大学 災害科学国際研究所)
- P13 ドイツの防災体制と 2021 年西ヨーロッパ洪水
米田沙由葵 (大阪大学大学院 人間科学研究科)
- P14 中学生の地震の知識と防災への態度・スキルの状況-簡易ルーブリックによる検討-
林 武広 (広島大学)
藤川 義範 (元 State University of Semarang 講師)
中西 裕也 (新潟大学教育学部)
中村 勝 (広島大学附属三原中学校)
龍岡 寛幸 (広島大学附属東雲中学校)
磯崎 哲夫 (広島大学大学院人間社会科学研究科)
- P15 令和 6 年能登半島地震を対象とした「自治体の災害対応および応援受援活動の全国調査」―ヒアリング調査について
辻岡 綾 (国立研究開発法人 防災科学技術研究所 社会防災研究領域 災害過程研究部門)
折橋 祐希 (国立研究開発法人 防災科学技術研究所 社会防災研究領域 災害過程研究部門)
宇田川真之 (国立研究開発法人 防災科学技術研究所 社会防災研究領域 災害過程研究部門)
永松 伸吾 (国立研究開発法人 防災科学技術研究所 社会防災研究領域 災害過程研究部門)

- P16 火山地域ごとの効果的な知識の普及に向けて一群馬県草津町でのアンケート調査からー
亀谷 伸子 (山梨県富士山科学研究所 富士山火山防災研究センター)
岡田 夏美 (山梨県富士山科学研究所 富士山火山防災研究センター)
寺田 暁彦 (東京科学大学 草津白根火山観測所)
- P17 水害タイムラインに対するボランティアからの提言ー災害廃棄物行政、避難行動要支援者支援の視線からー
高田 昭彦 (復興ボランティアタスクフォース 代表/富士フィルムビジネスイノベーションジャパン 勤務)
- P18 震災映像アーカイブへの「A I 推奨機能」の導入
木戸 崇之 ((株)エー・ビー・シーリブラ (朝日放送テレビより出向))
- P19 令和6年能登半島地震における宿泊施設の津波避難対応の実態分析
藤中 美優 (関西学院大学 建築学部建築学科)
武田 莉果 (関西学院大学 建築学部建築学科)
照本 清峰 (関西学院大学 建築学部建築学科)
- P20 災害対策本部運営シミュレーションゲーム「ここは災対本部」の開発と自治体職員研修での実践
羽田野拓己 (名古屋大学 減災連携研究センター)
橋本 直也 (四日市市役所)
人見 幸希 (四日市市役所)
榎並 克浩 (津島市役所)
芝 直之 (スマートインプリメント株式会社)
木作 尚子 (名古屋大学 減災連携研究センター)
都築 充雄 (名古屋大学 減災連携研究センター)
平山 修久 (名古屋大学 減災連携研究センター)
- P21 学生参加によるインクルーシブな避難所運営訓練プログラムの開発
萬代由希子 (関西福祉大学 社会福祉学部社会福祉学科)
原 弘輝 (関西福祉大学 社会福祉学部社会福祉学科)
藤原 慶二 (関西福祉科学大学 社会福祉学部福祉創造学科)
- P22 災害時の標準的な優先度設定に向けた災害対策本部訓練における検証
高津 諭 (NTT 東日本株式会社 防災研究所)
加藤 禎洋 (NTT 東日本株式会社 防災研究所)
大野 哲平 (NTT 東日本株式会社 防災研究所)
大牟禮萌実 (NTT 東日本株式会社 防災研究所)
杉山 友理 (NTT 東日本株式会社 防災研究所)
沼田 宗純 (東京大学 生産技術研究所/大学院情報学環)
伊藤 嘉信 (東京大学 工学系研究科 社会基盤学科)
- P23 災害時のクロノロジーに基づく対応先の自動推定手法の検証
大野 哲平 (NTT 東日本株式会社 防災研究所)
高津 諭 (NTT 東日本株式会社 防災研究所)

加藤 禎洋 (NTT 東日本株式会社 防災研究所)
大牟禮萌実 (NTT 東日本株式会社 防災研究所)
杉山 友理 (NTT 東日本株式会社 防災研究所)
沼田 宗純 (東京大学 生産技術研究所／大学院情報学環)

P24 令和6年能登半島地震の発生後における宿泊施設の宿泊客及び来訪者への支援対応

武田 莉果 (関西学院大学 建築学部建築学科)
藤中 美優 (関西学院大学 建築学部建築学科)
照本 清峰 (関西学院大学 建築学部建築学科)

P25 「災害時の広域避難等について考える研究会の設立と意義-基礎自治体職員による研究枠組みの構築-

柴野 将行 (吹田市総務部危機管理室、日本大学、公益財団法人 ひょうご震災記念 21 世紀研究機構)
齋藤 知宏 (吹田市総務部危機管理室、公益財団法人 ひょうご震災記念 21 世紀研究機構)
白木 悠平 (茨木市 総務部危機管理課、公益財団法人 ひょうご震災記念 21 世紀研究機構)
西川 隆士 (芦屋市 都市政策部都市基盤室、公益財団法人 ひょうご震災記念 21 世紀研究機構)
永吉 正樹 (加古川市 防災安全部防災対策課、公益財団法人 ひょうご震災記念 21 世紀研究機構)
竹原 拓馬 (輪島市 総務部防災対策課、公益財団法人 ひょうご震災記念 21 世紀研究機構)
行司 高博 (公益財団法人 ひょうご震災記念 21 世紀研究機構)
有吉 恭子 (吹田市総務部危機管理室、関西大学、公益財団法人 ひょうご震災記念 21 世紀研究機構)

P26 奈良県十津川村における災害語彙の収集と考察

三谷 直哉 (文化財防災センター)

P27 避難所運営業務における自治体と外部機関との役割ー被災地の実態分析を通じてー

菊地 祥吾 (吹田市危機管理室)
有吉 恭子 (吹田市危機管理室、関西大学)
柴野 将行 (吹田市危機管理室、日本大学)
越山 健治 (関西大学)

P28 乗用エレベーターによる火災時避難の社会実装に向けて

野竹 宏彰 (清水建設株式会社 技術研究所 建設基盤技術センター)
藤田 聡 (東京電機大学 工学部機械工学科)
下秋 元雄 (東京電機大学 工学部機械工学科)
鈴木 圭一 (清水建設株式会社 技術研究所 建設基盤技術センター)
皆川 佳祐 (埼玉工業大学 工学部機械工学科)
城 明秀 (株式会社 竹中工務店 設計本部 アドバンスデザイン部)
榎本 満帆 (株式会社 明野設備研究所)

P29 放送における防災気象情報の伝え方の検討ー情報の受け手が伝え手の役割演技を行う取組を通してー

前田 智宏 (京都大学大学院 情報学研究科／株式会社 南気象予報士事務所)
矢守 克也 (京都大学 防災研究所 巨大災害研究センター)

P30 原発被災地域における宿泊施設の整備過程ー事業者を取り巻く制度的条件に着目してー

根本 豪己 (東京大学 工学部都市工学科)
奥山 泰牙 (福島大学大学院 共生システム理工学研究科環境放射能学専攻)

吉田 豊 (筑波大学大学院 人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学研究群)
佐藤 彩乃 (東京大学大学院 情報学環)
開沼 博 (東京大学大学院 情報学環／東日本大震災・原子力災害伝承館)

P31 災害時における Forms を用いた学生・教職員の安否確認

森下 功啓 (熊本高等専門学校 建築社会デザイン工学科)
上久保祐志 (熊本高等専門学校 建築社会デザイン工学科)
田中 禎一 (熊本高等専門学校 機械知能システム工学科)
下川未来吏 (熊本高等専門学校 総務課)
永水 友博 (熊本高等専門学校 学務課)

P32 日本と海外における防災取組みの比較調査から災害伝承への考察—大阪・関西万博での聞き取り—

福田 敬正 (兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科)
山口 恭平 (兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科)
川原 耕一 (兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科)
渡邊 啓太 (兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科)
岡本 幸樹 (関西大学社会安全学部)
阪本真由美 (兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科)